



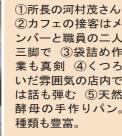


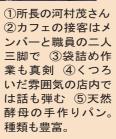
スマイルカフェ

羽村市玉川 2-10-1 **5** 578-2723

営業時間 火・木・金曜日の

午後1時~3時





『おつとめ品』などとして販売する工夫も取り入 に提供するからには形も味もきちんとしよう』と 般の食品会社と同じレベルを保つように指導してい いう機運が高まりました。形の悪い品物が出たら ました。平成30年に今の場所に移転しました。 し形もいびつでしたが、10年程前から『お客様 商品化も実現しました。当初は、量産もできな 働いている皆さんの感想は「皆で作業をする 作業では特に衛生面に気を使います 地域の皆さんと交 衛生面では

ことが楽しい」「働いているという自信がついた」

念願の新しくて明るい建物で、 流できるカフェもあります」 食品を扱う作業を担当する人には、

「食品衛生など難しいと思いましたが毎回勉強にな れる人たちのために気持ちを込めて作っています とを心がけています」「パンやクッキー 「早くやろうと思わずに、 やる前向きな気持ちが伝わってきます。 など、働くことの充実感や、お客様を思 ゆっくり丁寧にやるこ を食べてく

を包む穏やかさの源は、河村さんの人柄なのかも な存在でありたいですね」と語ります。 何でも相談できる近所のおじさんのような、 入しない、でもパートナ を『してあげる』ということではなく、 しれません 河村さんは、工房のメンバ のような関係、 との関係を「何か 無理に介 工房全体 気軽に そん

ございますので、ぜひ気軽にお立ち寄りください」 「羽村大橋のたもとにある豊かな自然に囲まれた 雰囲気の中で、 カフェで、天然酵母を使った手作りパンとおい 飲み物を用意してお待ちしています。 おいしいパンとコーヒー、 ほっと一息ついてみませんか 丁寧なおもてなしの 駐車場も



障害福祉課障害者支援係例185

ンやクッキー、季節に合った飲み物などを提供し、交流と憩いの場になっているのが「スマイルカフェ」 しい生き方を見つける場を提供している施設 主に心の病により生活のしづらさを抱えた方が、 このスマイルカフェを訪ねてみました。 「スマイル工房」。このスマイル工房で丁寧に作られたパ 作業や、仲間や地域との交流などを通じて、自分ら

がっているのでしょう。 客態度が、 れがちな昨今ですが、このような実直で丁寧な接 の方からも補足がありました。スピードが求めら客様に説明することになっているんです」と職員 奥の作業場では数人の方が黙々と作業をして カフェの落ち着いた居心地の良さにつな

前にキャラメルのような可愛らしい佇いの「スマ

奥多摩街道から堂坂を下っていくと、

土手の手

イルカフェ」があります。

店内はこぢんまりとして、

温かみのある雰囲気

飲み物を頼んで席に座ると、窓からは日の

り、製品を袋に詰める作業など分担して行います。 になって今年で19年。最初の頃に比べると、 ル工房は大きく変化したと言います 所長の河村茂さんは、スマイル工房で働くよう パンやクッキーを作る人、袋や箱を作った し子など福祉作業

る一方、近所の方らしき親子連れ、散歩の途中の が解放感も感じさせます。店内でくつろぐ方がい 光が射し込み、土手越しに見える浅間岳と青い空

方、常連の方など、

テイクアウトのお客さんも続

前から農産物直売所に手作りクッキーを置いても 所として一般的な作業をしていました。その少し 小さな古い建物で、箱折りや刺 「私が就職した平成14年当時は、羽村一 その後、 天然酵母の

方が伝えに来ました。カフェでの接客には、

スマイ 店員の

工房のメンバーと職員が2人一組であたるそうで

「間違えた場合などには、こうやって自分でお

訳ありませんが、

方を間違えてしまいました。 作り直しますので、

時間をいただいてもよろし

いでしょう

しお

地域のオアシスでほっと一息

12月3日~9日は「障害者週間」

誰もが人格と個性を尊重し、支え合う「共に生きる 問合せ 障害福祉課障害福祉係 例173 社会」に向けた環境づくりをしていきましょう。

ご存じですか「障害者差別解消法」

してはいけないこと「不当な差別的取扱い」

正当な理由なく、障害を理由として、サービ スの提供を拒否するなど、障害のない人と異な る対応をすることです。例えば

- ・障害を理由に入店や施設の利用を断る。
- ・障害者向けの物件はないと言って対応しない。

しなければならないこと「合理的配慮の提供」

障害のある人から何らかの配慮を求める意思 表示があった場合に、負担になりすぎない範囲 で対応をすることです。例えば

- ・筆談や読み上げなど、伝える方法を工夫する。
- ・段差がある場合に、キャスター上げやスロー プの利用などの補助を行う。

内部障害や聴覚障害など、配慮を必要とすることが外見からはわかりにくい障害もあります。けが や病気により体が不自由になるリスクは誰にでもあります。すべての人が障害についての理解を深め、 障害のある人もない人も、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指しましょう。

問合せ 障害福祉課障害者支援係 例 185

図書館から

障害者週間展示

障害について理解が深まる図 書や、活字による読書が困難な 方のための資料を展示します。

12月1日(水)~12日(日) 図書館本館1階展示

ハンディキャップサービスを利用してください 活字による読書が困難な方や、高齢また は身体的理由で図書館への来館が困難な方 へ、次のサービスを行っています。利用登 録が必要なサービスもあります。詳しくは 問い合わせてください。

●点字図書・大活字本・朗読 CD の貸出

※利用者カードをお持ちの方はどなたでも 借りることができます。

- ●録音図書 [DAISY (デイジー) 版図書] 貸出
- ●対面朗読サービス
- ●本の宅配サービス

問合せ 図書館 554-2280

4 広報はむら 3.12.1 広報はむら 3.12.1 3